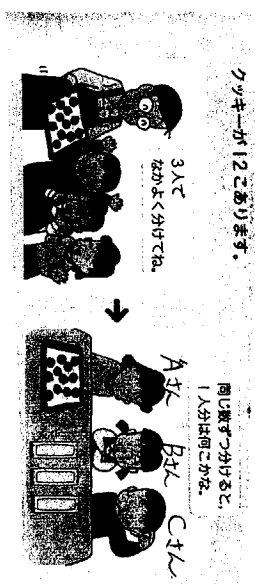


3年生① 同じ数ずつ分けるときは計算を考えよう (5/19)

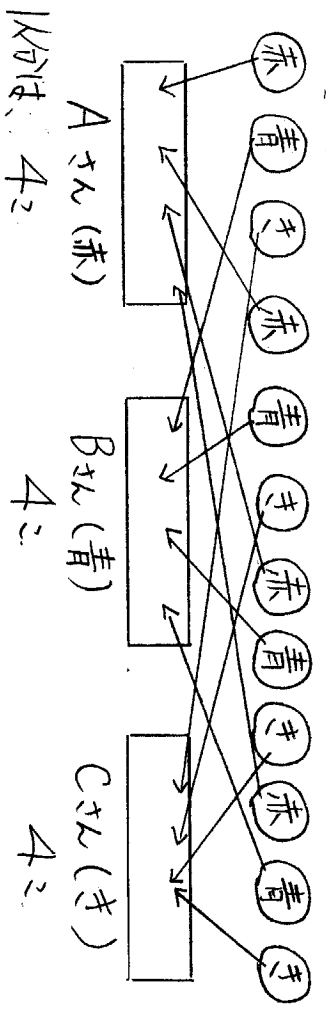
クッキーが12こあります。
3人で
おなじく分けてね。
同じ数ずつ分ける。
1人分は何こあるか。
12こあります。
3人で同じ数ずつ分けるか。



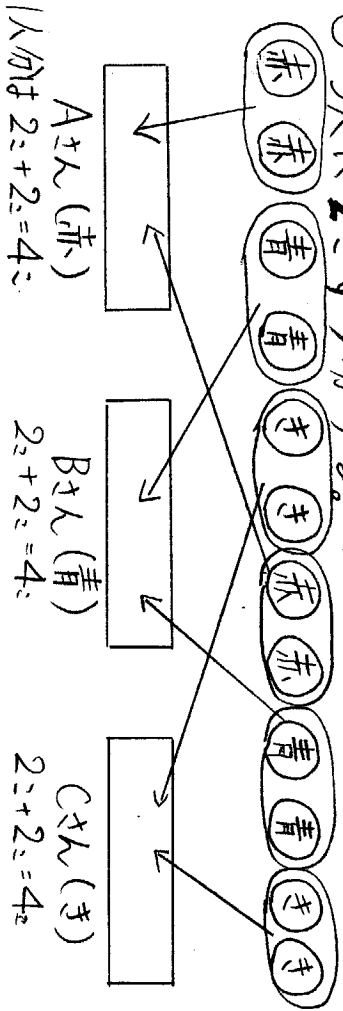
12. おいじきなどをみんながばいしょ。

ポイント
絵を見るときのおおしがあがるね。
どうやってクッキー12を同じ数ずつ、3のおおしが分けていく？
4つのおおしから、自分がおおしたのはいくつ？

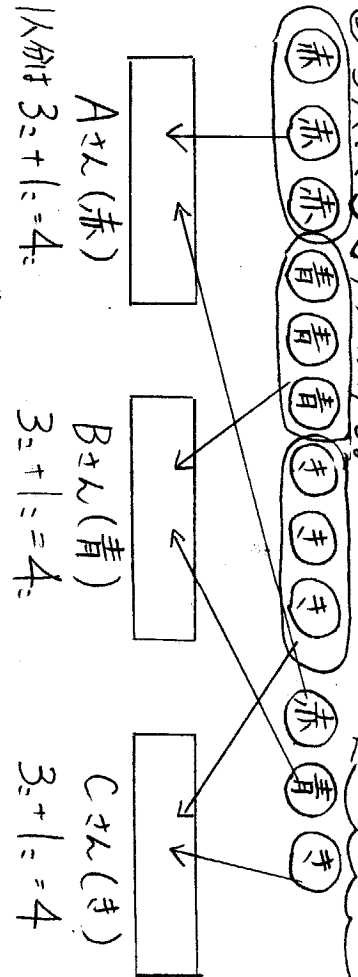
(1) 実さいに分けてみよう。(色をぬると、分かつやすいよ)
① 3人に1ずつ分ける。



② 3人に2ずつ分ける。

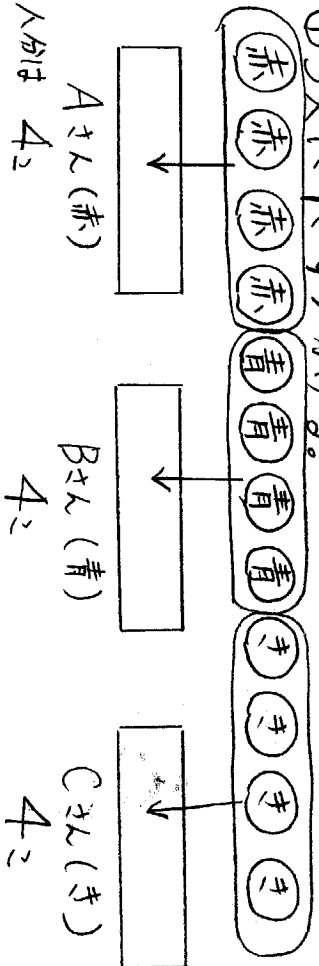


③ 3人に3ずつ分ける。

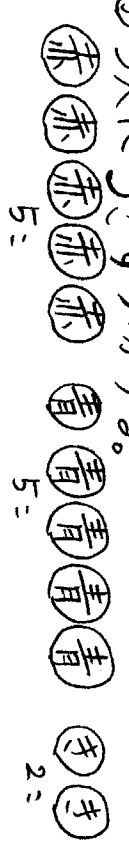


おおいじきは3つあるから、1人1つずつ分ける。

④ 3人に4ずつ分ける。



⑤ 3人に5ずつ分ける。



となり、同じ数ずつ分けるから、1人に5はわりあはらない。
<はあはらぬない。

(答え) 1人分は4こずつ。

まとめ(覚える) 12のクッキーを3人で同じ数ずつ分けると、1人分は4こ
(式) $12 \div 3 = 4$ (こ) ずつ
12を3でわると4こ

3年生③ 同じ数ずつ分けるとき計算を考えよう (5/20の答え)

そのうの学習を思い出して、下の2つの間たいを式でかいてみよう。

— 思い出そう。 —
 12のクッキーを3人で同じ数ずつ分けると、1人分は、4こ
 $12 \div 3 = 4$

① あめが18あります。6人で同じ数ずつ分けます。1人分は、何こですか。

② 式を書きましょう。
 (式) $18 \div 6 = 3$ (こ)

答えはなかくてえ
 いひよ。

③ 1人分は何こになりますか。おはじきなどを使て、求めましょう。

(図) ① A B C D E F A B C D E F A B C D E F



1人に3こずつ、分けています。だから、

(答え) 3こ(こ)

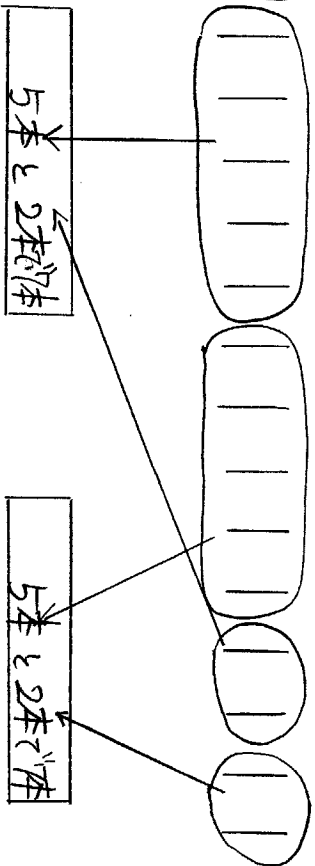
6人と多い人数なので、1人に1こずつ分けてみました。

それなら、1人に3本ずつ糸をひくことになったので、1人に3こずつ、くばれはいいことか分りました。

でも、線がいろいろあって、ひき間ちがえると、答えも間ちがえちゃうね。何かいい方法はないかな？

(2) 14本のえん筆を2人で同じ数ずつ分けると、1人分は何本ですか。式を書いて、答えを求めましょう。

(図)



式を書いて、答えを求めましょう。

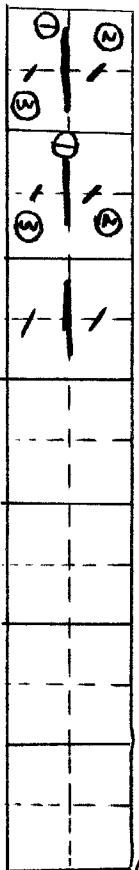
(1) は1人に3こくばれて大人だった。そういえばそのうは、5こくばると分けられなかったから、それは分つらそう。1人5本ずつくばると、あま4本。4本だから、2本ずつを2人にくばれよう。(これは5本ずつくばれたから、1人7本ずつくばるとかきけるよ。)

(式) $14 \div 2 = 7$ (本)

(答え) 7本

まとめ 同じ数ずつで、何人かに分ける時の計算は「わり算」。その時に「÷」(うす)をつかう。

(練習) 「÷」のかき方。(①~③は書き順)



1人にかけると
 もいひよ。

自分でかいてみよう。

3年生④ 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう (5/21)

ゼリーが20あります。5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こですか。おはじきや図をつかわない方法を考えよう。

今までおはじきや図で考えてきましたか、今日は、つかいません。では、どうすればいいかな？

「おはじきなど、何か20を1人分にして、分けた」の計算は、どうしたらいいかな。

考えるポイント
 同じ数ずつ分けると、分けた数は全部で何こあって、あまりが何こある。このあまりを0にしたい。

1人に1こずつくばると

分けた数は全部で $1 \times 20 = 20$ 。でも、15こある。

1人に2こずつくばると

分けた数は全部で $2 \times 10 = 20$ 。でも、10こある。

1人に3こずつくばると

分けた数は全部で $() \times () = ()$ 。でも、()こある。

1人に4こずつくばると

分けた数は全部で $4 \times 5 = 20$ 。あまりは0こ。(答え) 4こ

考える時に、下のかけ算の式ができてきましたね。(=の部分は)

(1人分の数) × (分ける人数) = (全部の数)

$1 \times 20 = 20$
 $2 \times 10 = 20$
 $4 \times 5 = 20$

ここに、上では、1, 2, 3, 4と数を代入してみよう。

今のうちに、□に1, 2, 3, 4と入れると。(教科書P38の青色でかまれている部分) おはじきするときのように、図で計算し、答えを出しているのと、同じですね。

ちゃんと大々でした。

そこで、今までの考え方と計算のきまりを使って、答えを出す計算をします。

$20 \div 5 = 4$ (1人が4こずつ)

$1 \times 20 = 20$ (1人が1こずつ)

$2 \times 10 = 20$ (1人が2こずつ)

$4 \times 5 = 20$ (1人が4こずつ)

ポイント
 □を求める時、計算のきまり「かけられる数とかける数をいれかえても答えは同じ」をつかった。

だから、 $5 \times 4 = 20$ なので、 $20 \div 5 = 4$ となる。

まとめ

20 ÷ 5 の答えは、5のたんの九九で求められる。

(練習) 24 cm のリボンを同じ長さの8本に切ります。1本は何cmですか。式をかくて、答えを求めましょう。その時、何のたんをつかいましたか。

式	答え	答えを求めるときに、たんのたん

3年生⑤ 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう (5/21の答え)

ゼリーが20あります。5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こですか。おはじきや図をつかわない方法を考えよう。

今までおはじきや図で考えてきましたか、今日はつかいません。では、どうすればいいかな？



考えるポイント
 同じ数ずつ分けると、分けた数は全部で何こあって、あまりが何こある。このあまりを0にしたい。

1人に1こずつくばると

分けた数は全部で $1 \times 20 = 20$ 。でも、15こある。

1人に2こずつくばると

分けた数は全部で $2 \times 10 = 20$ 。でも、10こある。

1人に3こずつくばると

分けた数は全部で $3 \times 7 = 21$ 。でも、(5)こある。

1人に4こずつくばると

分けた数は全部で $4 \times 5 = 20$ 。あまりは0こ。(答え) 4こ

考える時に、下のかけ算の式ができてきましたね。(=の部分)

(1人分の数) × (分ける人数) = (全部の数)

$1 \times 20 = 20$
 $2 \times 10 = 20$
 $3 \times 7 = 21$
 $4 \times 5 = 20$

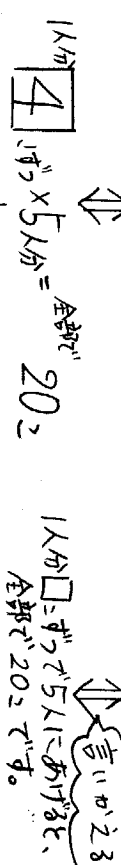
ここに、上では1, 2, 3, 4と数を入れていますね。

今のうちに、□に1, 2, 3, 4と入れると。(教科書P38の青色でこまれている部分)、おはじきするときのように、図で計算して、答えを出しているのと違ってですね。

ちゃんと大々でした。

そこで、今までの考え方で計算のきまりを使って、答えを出す計算をします。

$20 \div 5 = 4$



□ \times 5 = 5 \times □ = 20

ポイント
 □を求める時、計算のきまり「かけられる数とかける数を入れかえて答えが同じ」を使えた。

だから、5 \times □ = 20なので、20 \div 5 = □ となる。

まとめ

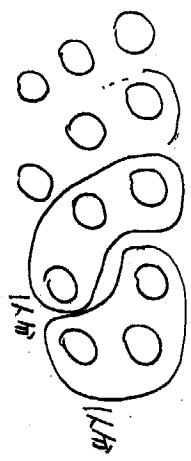
20 \div 5 の答えは、5のたんの九九で求められる。

(練習) 24cmのリボンを同じ長さずつ、8本に切ります。1本は何cmですか。式をかいて、答えを求めましょう。その時、何のたんをつかいましたか。

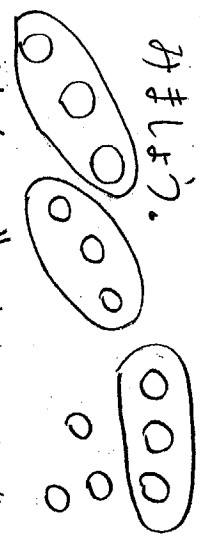
式	答え	答えを求めるときにたんだん
$24 \text{ cm} \div 8 \text{ 本} = 3 \text{ cm}$	3 cm	8 のたん

3年生⑥ 同じ数ずつ分ける時の計算を考えよう (5/22)

1人が12あります。1人に3:ずつ分けると、何人に分けられますか。



(1) おはじきなど12のしゅんびし、奥さいに3:ずつ分けてみましょう。



考えポイント
3:ずつに分けるとき、
たて、または横一列かに
おはじきよ。

(2) 1人分3:ずつがいくつに分かれたか。

(答え) 4

(3) 教科書P.40のように分けられているか、教科書と自分の分け方をくらべてみよう。(○でかいてね)

いしよだ、た・ちが、ていたけれど、間ちがえをなおして分けた。

ポイント(まちがえた人)
教科書P.40のように分けるために、自分のまちがえたところを
どのようになおしたのかを、しかりとおぼえておこう。
まちがえても大丈夫。

(4) 答えは何人ですか。
12を3:ずつに分けると () に分けられる。(答え) 4人

(15) おぼえよう。(ポイント) —
同じ数ずつ分けているので、この問題も「わり算」です。
それ、次のように、式をかきます。
$$\overset{\text{答え}}{12} \div \overset{\text{3:ずつ}}{3} = \overset{4}{\text{人}} \text{に分けられる。}$$

おぼえよう—2—
かけ算のとき $3 \times 4 = 12$
わり算のとき $12 \div 3 = 4$
わり算の数 ÷ わる数 = 答え
わり算の数 ÷ わる数 = 答え という。

(練習) 18本の花があります。1つのたばを6本ずつにすると、
何たばができますか。

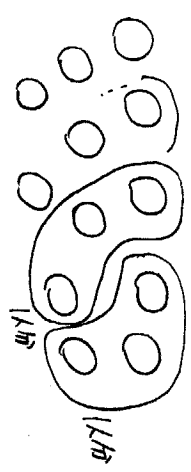
(1) 下の図の18の○を6:のたばにして、答えを求めましょう。

(答え) 3 たば

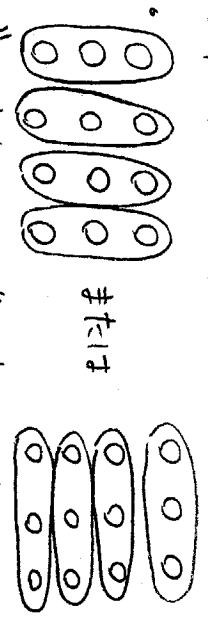
(2) 式をかきましょう。

3年生⑦ 同じ数ずつ分ける時の計算を考えよう (5/22 の答え)

1人が12 あります。1人に3:ずつ分けると、何人に分けられますか。



(1) おはじきなど12をじゆんじゆんして、奥さいに3:ずつ分けてみましょう。



(2) 1人分3:ずつがいくつに分かれたかたぬ。

上をみると、どちらも4つに分かれています。
かんがえを同じでしょう。 (答え) 4

(3) 教科書P.40のように分けられているか、教科書と自分の分け方をくらべてみましょう。(○でかいてね)

いっしょだ、た・ちが違っていただけ、間ががえをおいて分けた。

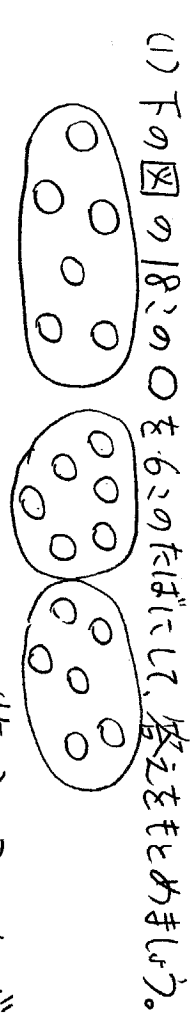
ポイント(まちがえた人)
教科書P.40のようにするために、自分のまちがえたところをどのようになおしたのかを、しかりとおぼえておこう。
まわび、でも大びです。

(4) 答えは何人ですか。
12を3:ずつに分けると(4)に分けられる。(答え) 4人

(5) おぼえよう。(ポイント) —
同じ数ずつ分けているので、この問題も「わり算」です。
そして、次のように、式をかきます。
全部で 12 ÷ 3 :ずつ = 4 人に分けられる。

おぼえよう—2—
かけ算のとき 3 × 4 = 12
かけられる数 × かける数 = 答え
わり算のとき 12 ÷ 3 = 4
わりられる数 ÷ わる数 = 答え という。

(練習) 18本の花があります。1つのたばを6本ずつにすると、何たばができますか。



(答え) 3 たば

(2) 式をかきましょう。
全部で 18本 ÷ 6本 = 3 たば

(は、てん) 教科書P.41②をみてください。

②の答え 全部で 24 ÷ 6 :ずつ = 4

にが手打人は、このように「たば」をわいていくといいよ。そうすると、じつは、この学年になっても、命がけやぶくなるんだ!!

3年生⑨ 同じ数ずつ分けるとき計算を考えよう (5/25の答え)

カードが20まいあります。1人に5まいずつ分けると、何人に分けられますか。おはじきや図をつかわないで答えを求めよう。

(1) 答えを□に入れて、わり算の式に書いてみましょう。

$$\overset{\text{全部で}}{(20)} \text{まい} \div \overset{1人}{(5)} \text{まい} = \square \text{人に分けられる}$$

(2) 何人に分けられるか、考えてみましょう。

① ひき算で考える。

$$20 \text{まい} - 5 \text{まい} = 5 \text{まい} - 5 \text{まい} = 0 \text{まい}$$

1人分 1人分 1人分

つ割。(4)人に分けた。 (答え) 4人

② 人数を1人、2人……とひき減り、分けた数全部とあおを

見て、あおを0まいにする。

1人に比べると、 $1 \times 5 \text{まい} \times 1 \text{人} = 5 \text{まい}$ 、あおは(15)まい。

2人に比べると、 $1 \times 5 \text{まい} \times (2) \text{人} = (10) \text{まい}$ 、あおは(10)まい。

3人に比べると、 $1 \times 5 \text{まい} \times (3) \text{人} = (15) \text{まい}$ 、あおは(5)まい。

4人に比べると、 $1 \times 5 \text{まい} \times (4) \text{人} = (20) \text{まい}$ 、あおは(0)まい。

だから、(4)人に分けられる。

(答え) 4人

考えのポイント
自分ほどの考えにしよう。

5まい、10まい、15まい、20まい
……と4回ひく。

③ おけ算の言ひの式から考える。
おけ算では、(1あたりのリボン) × (いくつ分) = (全部)。

ここでは、
(1人分の数) × (何人分) = (全部のまい数)。

だから、
1人分 5まい × □人分 = 全部で 20まい。

これは5のたんの九九になるので、 $5 \times \square = 20$ 。

(答え) 4人

① ~ ③の考え方が、おぼつかたかな。

さて、5/21の学習を思い出してみましょう。5/21に学習したわり算の答えの求め方と、今日のわり算の答えの求め方をくらべると、似た考え方が2つあります。

それは、(2)と(3)です。

つ割、20÷5の答えは(5)のたんの九九でも比べられます。
 ともに大きいポイント

(練習) 24cmのリボンがあります。1本8cmずつ切ると、何本に

なりますか。式と答えをかき、何のたんの九九で答えを求めたか、書きましょう。

全部	式	答え	答えを求めるときに九九
24cm	$24 \text{cm} \div 8 \text{cm} = 3 \text{本}$	3本	8のたんの九九

(はてん) わり算の答えには、2つ「みか」があるよ。

考えのポイント
わり算の答えを見つけたら、おけ算をつかうのはとても便利です。だから、しりとりと身につけるために、教科書P.42の青色のまはかっているところを見て、書いていきましょう。